

コンボドライブ

取扱説明書

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2)本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4)本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびはコンボドライブをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書では、コンボドライブの使い方について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。また、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」もあわせてお読みください。

表記について

本書の中で使用している記号の意味は次のとおりです。

安全に関する記号



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限

制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載してあります。



参考

参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載してあります。



本書とは別のマニュアルを示します。
例『ユーザーズマニュアル』: コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』を示します。



説明文が次ページに続くことを示します。



参照ページを示します。

1 2

操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

目次

はじめに	1
1 添付品の確認	3
2 本ドライブの特長	4
使用可能なメディアの種類	4
読み込み/書き込み速度	5
3 各部の名称と働き	6
前面パネル	6
ランプ表示	7
背面パネル	7
4 取り扱い上の注意	8
使用時の取り扱い	8
メディアの取り扱い	9
5 本ドライブの装着	10
ジャンプスイッチの設定	10
装着の手順	12
6 本ドライブの使い方	13
メディアのセットと取り出し	13
メディアへの書き込み	13
DVD VIDEOの再生	15
オンラインマニュアルの見方	15
7 ソフトウェアのインストールについて	16
8 困ったときに	17

添付品の確認

コンボドライブ(以下、本ドライブ)には、次の梱包品が添付されています。すべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、担当窓口までご連絡ください。

コンボドライブ本体

コンボドライブ取扱説明書(本書)


B's Recorder GOLDパッケージ

WinDVDパッケージ




コンピュータと本ドライブを同時に購入された場合、本ドライブはあらかじめコンピュータに装着されています。

コンピュータと本ドライブを同時に購入された場合、「B's Recorder GOLD」、「WinDVD」は、あらかじめHDDにインストールされています。本ドライブを後から購入された場合や、Windowsの再インストールをした場合には、インストールを行ってください。

 p.16「ソフトウェアのインストールについて」

各ソフトウェアのマニュアルは、オンラインマニュアル(pdf)で提供されています。

 p.15「オンラインマニュアルの見方」

本ドライブの特長

本ドライブの特長は次のとおりです。

CDメディアやDVDメディアの読み込み(再生)を行うことができます。
CDメディアへの書き込みを行うことができます。



CD(コンパクトディスク)の規格に準拠しない「コピーコントロールCD」などの特殊ディスクについては、動作保証していません。本ドライブにて動作しない特殊ディスクについては、特殊ディスクの製造元または販売元にお問い合わせください。

使用可能なメディアの種類

本ドライブで使用可能なメディアの種類は次のとおりです。

CD-ROM

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。
書き込みをすることはできません。

CD-R

最大700MBの容量を持ち、データなどを1度だけ書き込むことが可能なメディアです。書き込まれたデータなどを消去したり、移動したりすることはできません。ただし、マルチセッションという方法により、CD-Rメディアに空き容量があれば、繰り返し追記することができます。

CD-RW

最大700MBの容量を持ち、書き換え可能なメディアです。書き込んだデータをフォーマットすることで、繰り返し書き込みが行えます。

DVD-ROM

CD-ROMより大容量のデータ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。書き込みをすることはできません。

読み込み / 書き込み速度

本ドライブの読み込み/書き込み速度は、次のとおりです。

		読み込み	書き込み
CD メディア	CD-ROM	最大 48 倍速	×
	CD-R	最大 48 倍速	最大 48 倍速
	CD-RW	最大 40 倍速	最大 32 倍速
DVD メディア	DVD-ROM	最大 16 倍速	×

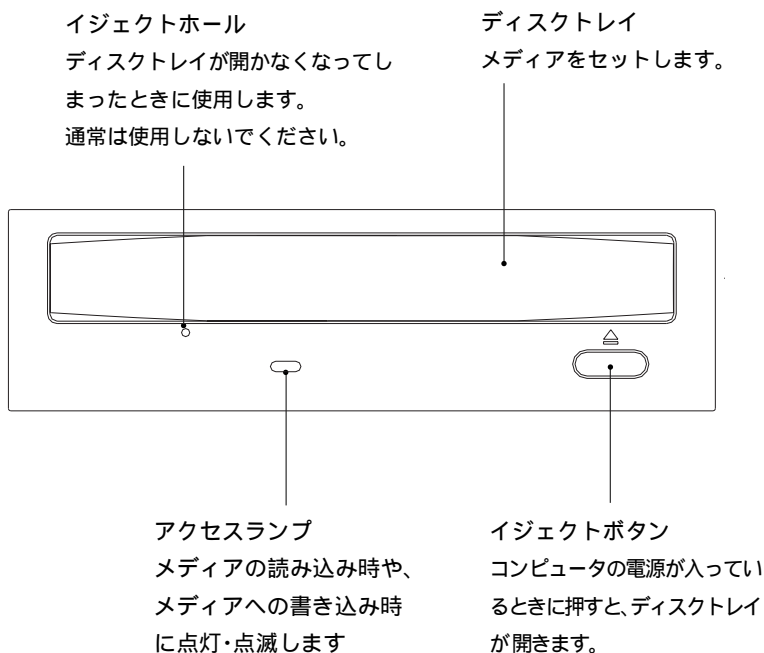
メディアへの書き込みを行う際には、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

3

各部の名称と働き

各部の名称と働きは、次のとおりです。

前面パネル



ランプ表示

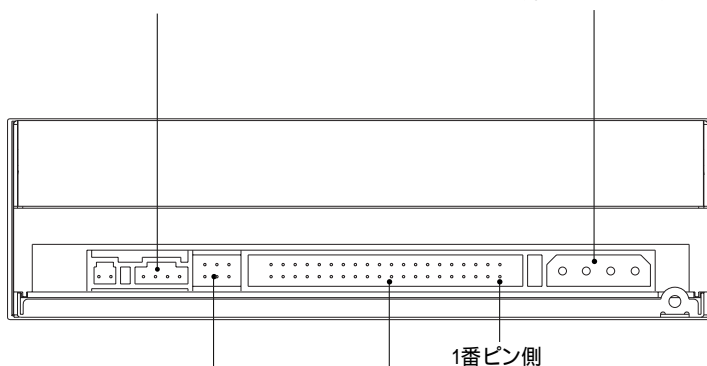
アクセスランプの表示と動作状態の関係は、次のとおりです。

アクセスランプ表示	動作状態
緑（点滅）	メディアへのアクセス中、メディアの再生中
オレンジ（点灯）	メディアへの書き込み中

背面パネル

CDオーディオコネクタ
CDオーディオケーブルを接続
します。

電源コネクタ
コンピュータ内部の周辺機器
用電源ケーブルを接続します。



ジャンプスイッチ
本ドライブの優先順位
(マスタ、スレイブ、
ケーブルセレクト)を
設定します。

インタフェースコネクタ
IDEインタフェースケーブルを接
続します。

取り扱い上の注意

本ドライブをお使いになる前に、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」を本章とあわせて必ずお読みになり、正しく取り扱ってください。



ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意してください。けがの原因になります。

ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。本機の内部で飛び散って、故障したり、メディア取り出し時にけがをしたりする危険があります。

使用時の取り扱い

ディスクトレイを出したまま放置しないでください。故障の原因になります。

開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。

本ドライブは、お使いになるコンピュータの温湿条件下で使用してください。詳しくは、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「機能仕様一覧」をお読みください。

磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になる場合があります。

結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露(水滴が付着する状態)します。結露した状態のメディアを使用すると、誤動作や故障の原因になります。

揮発性の殺虫剤などをかけないでください。ケースの変形や塗装がはげる原因になります。

メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。

メディアの挿入や取り出しのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。

メディアの取り扱い

直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。

温度差の激しい場所に置かないでください。結露が生じる場合があります。

上に物を載せないでください。

汚したり、落としたりして傷を付けないでください。

クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。

ボールペンなどの先の硬いもので文字を書いたり、シールや紙を貼らないでください。

アクセスランプ点灯・点滅中は、メディアを取り出したり、コンピュータの電源スイッチを押したり、再起動したりしないでください。

使用後は、コンピュータにセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。

ゴミやホコリの多いところでの使用や保管はしないでください。

信号面(文字などが印刷されていない面)に触れないでください。

レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。

レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

本ドライブの装着



本ドライブをコンピュータに装着する方法について説明します。あとから装着する場合や、取り外したあとに再度装着する場合などに参照してください。お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「システムの拡張」もあわせてご覧ください。




ジャンプスイッチの設定

本ドライブは、コンピュータに標準で装備されているIDEインタフェースに接続します。IDE機器(IDE HDD、IDE CD-ROMドライブやATAPI MOなど)を複数使用する場合は、すべてのIDE機器にマスタやスレイブ、ケーブルセレクトと呼ばれる優先順位の設定をする必要があります。

優先順位の設定は、本ドライブ背面のジャンプスイッチで行います。あらかじめお使いのコンピュータに接続されているすべてのIDE機器の数と種類を確認してください。

ジャンプスイッチの設定方法は、次のとおりです。

- 1 本ドライブを含め、接続されているすべてのIDE機器に対して、優先順位を決定します。
 『ユーザーズマニュアル』-「システムの拡張」-「IDE装置の装着」
- 2 決定した本ドライブの優先順位を、ジャンプスイッチで設定します。本ドライブのマスタ、スレイブ、ケーブルセレクトのジャンプスイッチの位置は、次ページのとおりです。
 p.7「背面パネル」

ドライブ設定	ジャンプスイッチの位置
マスタ	
スレイブ	
ケーブルセレクト	



5.25型ドライブを2台接続する場合は、2台ともセカンダリコネクタに接続します。その場合、セカンダリコネクタの優先順位を次のように設定してください。

マスタ	スレイブ
CD-ROMドライブ	コンボドライブ

装着の手順



コンピュータの電源プラグをコンセントに接続した状態で、本ドライブを装着しないでください。感電や火傷の危険があります。

ドライブベイへの接続

本ドライブは、コンピュータの5.25型ドライブベイに装着します。装着する際は、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「システムの拡張」をご覧ください。

各ケーブルの接続

コンピュータに装着したあとは、各ケーブルを接続します。ケーブルを接続する各コネクタの位置は、p.7「背面パネル」をご覧ください。コネクタにはそれぞれ誤挿入防止のための切り欠きがあります。切り欠きとケーブル側コネクタの突起を合わせて接続してください。お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「システムの拡張」-「IDE装置の装着」-「ドライブ (IDE) 装置の接続例」も参照してください。

- 1 本ドライブ背面のIDEインタフェースコネクタに、IDEインタフェースケーブルを接続します。
- 2 スピーカから音を出力するために、CDオーディオケーブルを接続します。
サウンドボードをお使いの場合
本ドライブのCDオーディオコネクタと、サウンドボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。

メインボード上にあるサウンド機能をお使いの場合
本ドライブのCDオーディオコネクタと、メインボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。
メインボード上にサウンド機能が搭載されていないモデルもあります。
- 3 本ドライブの電源コネクタに、コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。

本ドライブの使い方について説明します。

メディアのセットと取り出し

メディアのセット方法と取り出し方法については、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「コンピュータの基本操作」-「CD-ROMドライブを使う」をご覧ください。ドライブの形状は異なりますが、基本的な操作方法は同じです。その際には、「CD-ROMドライブ」を「コンボドライブ」と読み替えてください。



本ドライブを縦置きで使用する場合、8cmメディアの使用はできません。


メディアへの書き込み

本ドライブでは、データ、音楽、画像などをCD-Rメディア、CD-RWメディアに書き込むことができます。また、メディアに書き込む際に発生するバッファアンダーランエラー*を自動的に防止する機能を搭載しています。そのため、書き込みエラーを未然に防ぐことができ、メディアを無駄にすることなく、安心して書き込みが行えます。

* 一定の速度でメディアへ書き込めないと、発生するエラーのことです。メディアへの書き込みは、書き込むデータをドライブ側のバッファメモリに一時的に蓄えながらメディアに書き込んでいます。書き込み中にコンピュータで他の作業をするなど、バッファメモリのデータを使い切ってしまうと発生します。

メディアへの書き込み時の注意

メディアへの書き込みを行っているときに、Windowsが省電力モードに切り替わると、メディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを行う前に、省電力機能を無効にしてください。


 『ユーザーズマニュアル』-「コンピュータの基本操作」-「省電力機能を使う」

省電力機能を無効にする方法は次のとおりです。


- 1 [スタート]-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
Windows 2000の場合は[スタート]-「設定」-「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「電源オプション」をクリック(Windows2000の場合はダブルクリック)し、「電源オプションのプロパティ」を表示します。
- 3 「電源設定」タブで、「モニタの電源を切る」など、すべての項目の時間設定を「なし」に設定します。
- 4 [適用]をクリックし、[OK]をクリックします。これで、省電力モードが無効になります。

ライティングソフトウェア

メディアへ書き込みをする場合は、ライティングソフトウェアが必要です。本ドライブには、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」が添付されています。コンピュータと本ドライブを同時購入された場合、「B's Recorder GOLD」はあらかじめHDDにインストールされていますが、本ドライブを後から購入された場合、Windowsの再インストールを行った場合は、インストールを行ってください。

 p.16「ソフトウェアのインストールについて」

「B's Recorder GOLD」の詳しい使用方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

 p.15「オンラインマニュアルの見方」

DVD VIDEO の再生

DVD VIDEOの再生には、再生のためのソフトウェアが必要です。本ドライブには再生のためのソフトウェアとして「WinDVD」が添付されています。コンピュータと本ドライブを同時購入された場合、「WinDVD」はあらかじめHDDにインストールされていますが、本ドライブを後から購入された場合、Windowsの再インストールを行った場合は、インストールを行ってください。「WinDVD」の詳しい使用方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。

DVD VIDEO 再生時の制限

「WinDVD」でDVD VIDEOの再生をする場合、解像度や、色数、リフレッシュレートの設定により、DVD VIDEOの再生ができないことがあります。DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度や色数、リフレッシュレートを調節してみてください。

オンラインマニュアルの見方

本ドライブに添付されている各ソフトウェアのマニュアルは、オンラインマニュアル(pdf)で提供されています。

各ソフトウェアの詳しい使用方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。

B's Recorder GOLD

B's Recorder GOLDのマニュアルは、[スタート]メニューから見るできません。

[スタート]-「(すべての)プログラム」-「B.H.A.」-「B's Recorder GOLD PE」
-「DOC」-「ユーザーズマニュアル」

WinDVD

WinDVDのマニュアルは、「WinDVD CD-ROM」に登録されています。

「WinDVD CD-ROM」を本ドライブにセット - ([スタート]-)マイコンピュータ - CD-ROMアイコンを右クリック - 「開く」 - 「manual」

ソフトウェアのインストールについて

本章では、本ドライブに添付されているソフトウェアのインストールについて説明しています。

B's Recorder GOLD

コンピュータと本ドライブを同時購入された場合、あらかじめインストールされています。本ドライブを後から購入された場合、Windowsを再インストールした場合は、インストールが必要です。

インストール方法については、「B's Recorder GOLD CD-ROM」に登録されているクイックガイド(PDFファイル)をご覧ください。


クイックガイド(PDFファイル)を開く手順は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD CD-ROM」を本ドライブにセット - ([スタート] -)マイコンピュータ - CD-ROMアイコンを右クリック - 「開く」 - 「BsGOLD」 - 「DOC」 - 「quick」

WinDVD

コンピュータと本ドライブを同時購入された場合、あらかじめインストールされています。本ドライブを後から購入された場合、Windowsを再インストールした場合は、インストールが必要です。

インストール方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

 p.15「オンラインマニュアルの見方」

困ったときに

本ドライブの調子がおかしいと感じたときは、下記の項目を確認してみてください。また、添付ソフトウェアのマニュアルも参照してください。確認後も状況が変わらない場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、担当窓口へご連絡ください。

現象 コンピュータが起動しなくなった。本ドライブにアクセスするとコンピュータが停止(ハングアップ)する。

確認と対処 コンピュータの使用環境について、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「安全にお使いいただくために」、「製品保護上の注意」および本書「取り扱い上の注意」の項目を確認してください。

本ドライブに、IDEインタフェースケーブルおよび電源ケーブルが正しく接続されているか、また、ケーブルに損傷などがいないかを確認してください。

p.10「ジャンプスイッチの設定」を参照して、本ドライブおよびほかのIDE機器の優先順位(マスタやスレーブなど)の設定を確認してください。

現象 セットしたメディアにアクセスできない。

確認と対処 メディアを挿入した直後は、データの読み込み準備のためアクセスできません。この場合は、しばらく待ってから、もう一度アクセスしてみてください。

メディアの表面に傷などがいないか確認してください。

別のCD-ROMにアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできないメディアに問題がある可能性があります。

メディアが正しくセットされているか確認してください。

本ドライブとの相性により、書き込み済みのCD-RメディアまたはCD-RWメディアを読み込めない場合があります。

現象 ディスクトレイが開かない。

確認と対処 コンピュータの電源が入っているか確認してください。

コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルが、本ドライブに接続されているか確認してください。


上記の作業を行っても取り出せない場合は、ディスクトレイを強制的に開く方法があります。詳しくは、コンピュータに添付の『ユーザズマニュアル』-「コンピュータの基本操作」-「CD-ROMドライブを使う」-「強制的なCD-ROMの取り出し」をご覧ください。

現象 メディアをセットすると画面が開いてしまう。

確認と対処 セットしたメディアに自動再生機能がある場合は、自動的に画面が開きます。メディアに登録されている内容を見たい場合は、[キャンセル]または[]をクリックして、画面を閉じます。そのあと、([スタート]-「マイコンピュータ」-CD-ROMアイコンを右クリックして、「開く」を選択します。

現象 音楽CDやDVD VIDEO再生時に、スピーカなどから音声が出力されない。

確認と対処 ボリュームの調節が適切か確認してください。

 『ユーザズマニュアル』-「コンピュータの基本操作」-「その他の機能」-「サウンド機能」

アンプや、アンプ内蔵スピーカが、コンピュータの背面側にあるライン出力コネクタに接続されているか確認してください。サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクタに接続されているか確認してください。

アンプ、またはアンプ内蔵スピーカのスイッチが入っているか確認してください。


p.12「各ケーブルの接続」を参照して、CD オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルに傷や損傷などがいないか確認してください。

現象

メディアへの書き込みができない。

確認と対処

本ドライブの対応速度にあわせたメディアを使用しているかどうか確認してください。

 p.4「本ドライブの特長」

本ドライブとの相性により、セットしたCD-RメディアまたはCD-RWメディアに書き込めない場合があります。


メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。

メディアの表面に汚れや傷などがいないか確認してください。

メディアの残容量があるか確認してください。

ヘッドレンズなどが汚れていないか確認してください。汚れが原因で、書き込みができない場合があります。

メディアへの書き込みをする場合には、専用のライティングソフトウェアが必要です。本機には、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」が添付されています。「B's Recorder GOLD」がインストールされているか確認してください。


 p.16「ソフトウェアのインストールについて」

現象

書き込み中に書き込みエラーが発生する。

確認と対処


Windows が省電力モードに切り替わると、CD RメディアまたはCD RWメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力機能を無効にしてください。

 p.13「メディアへの書き込み時の注意」

現象 DVDの再生ができない。


確認と対処 本ドライブでDVD VIDEOを再生する場合は、「WinDVD」を使用します。「WinDVD」がインストールされているか確認してください。

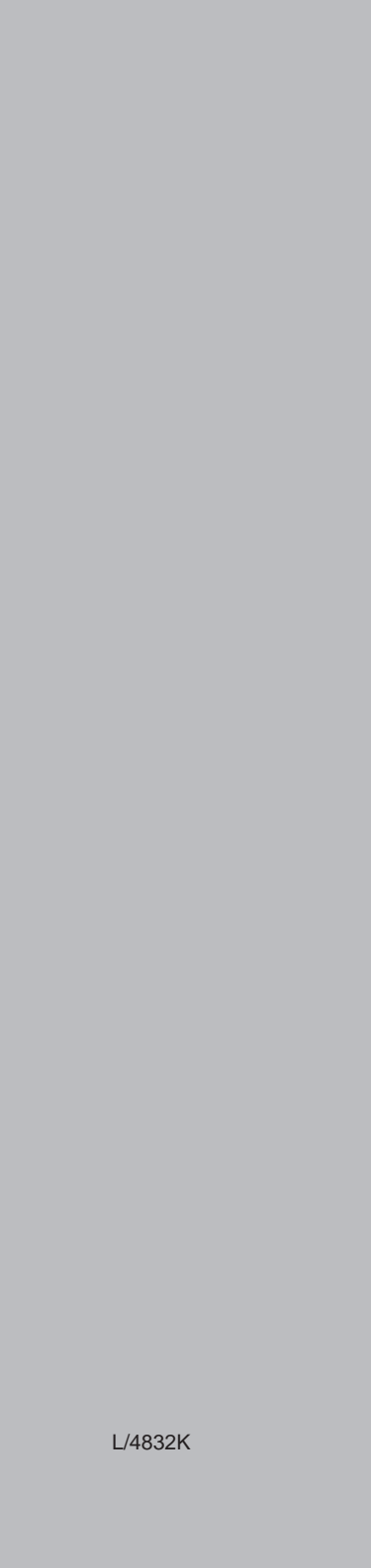
ディスプレイの画面解像度や色数、リフレッシュレートを変更してみてください。

 p.15「DVD VIDEOの再生」

現象 DVDの再生が不安定になる。

確認と対処 WinDVDを起動して、「セットアップ」-「ビデオ」タブ-「ビデオハードウェア構成」の「ハードウェアデコードアクセラレーション使用」と「ハードウェアカラーアクセラレーション使用」のチェックを外してみてください。詳しくは「WinDVD」のオンラインマニュアルをご覧ください。

 p.15「オンラインマニュアルの見方」



大豆油インキを使用しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

